

# 受験算数の基礎



## 試行力問題～子どもから大人まで～

2025ととなりあう数の和と差

2025や2205のように、数字の0を1個、2を2個、5を1個ならべて4けたの数を作ります。

(1) となりあう数字をたすと、2025なら $2 \cdot 2 \cdot 7$ 、2205なら $4 \cdot 2 \cdot 5$ という3つの数になります。

$$\begin{array}{ccc} 2 & 0 & 2 & 5 \\ \underbrace{\quad} & \underbrace{\quad} & \underbrace{\quad} & \\ 2 & 2 & 7 & \end{array} \quad \begin{array}{ccc} 2 & 2 & 0 & 5 \\ \underbrace{\quad} & \underbrace{\quad} & \underbrace{\quad} & \\ 4 & 2 & 5 & \end{array}$$

3つの数をたすと、 $2 + 2 + 7 = 11$ 、 $4 + 2 + 5 = 11$ となります。このような、3つの数をたした

答えの中で、最も小さいものと最も大きいものをもとめなさい。また、もとの4けたの数をすべて答えなさい。

最も小さい答え                      もとの数

---

最も大きい答え                      もとの数

---

(2) となりあう数字をひくと、2025なら $2 \cdot 2 \cdot 3$ 、2205なら $0 \cdot 2 \cdot 5$ という3つの数になります。

$$\begin{array}{ccc} 2 & 0 & 2 & 5 \\ \underbrace{\quad} & \underbrace{\quad} & \underbrace{\quad} & \\ 2 & 2 & 3 & \end{array} \quad \begin{array}{ccc} 2 & 2 & 0 & 5 \\ \underbrace{\quad} & \underbrace{\quad} & \underbrace{\quad} & \\ 0 & 2 & 5 & \end{array}$$

3つの数をたすと、 $2 + 2 + 3 = 7$ 、 $0 + 2 + 5 = 7$ となります。このような、3つの数をたした答えの中で、最も小さいものと最も大きいものをもとめなさい。また、もとの4けたの数をすべて答えなさい。

最も小さい答え                      もとの数

---

最も大きい答え                      もとの数

---

2025ととなりあう数の和と差

(1)

最も小さい答え…11, もとの数…2025, 2205, 5022, 5202

最も大きい答え…16, もとの数…2250, 2520

(2)

最も小さい答え…5, もとの数…5220

最も大きい答え…10, もとの数…2052, 2502